

報 告 資 料
3. 1 0. 1
梓川地区地域づくりセンター

(報告事項)

梓川地区の公共交通に関するアンケート調査結果（概要）について

1 趣 旨

梓川地区の公共交通に関する課題の原因分析、改善策、補完策について検討するため、梓川地区まちづくり協議会と協働で、全戸を対象にアンケート調査を実施しましたので、その結果を報告するものです。

2 実施概要

	一般住民対象	学生対象
調査期間	令和3年7月28日～8月20日	同 左
調査対象	梓川地区の全世帯の成人対象。 ただし、60歳以上の方がいる場合は、その内の1人	梓川地区の世帯で、高校生以上の学生がいる場合にその内の1人
配布数	3, 513枚	同 左
回答者数	1, 559人（回収率44.4%）	150人（対象者数・回収率不明）
実施方法	町会長、隣組長経由でアンケート用紙を配布し、後日回収 （ながの電子申請サービスも併用）	同 左
設問内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町会別、年齢別の利用交通実態と問題点 ・新しい公共交通サービス等のニーズ ・冬期間の利用交通についての意見・要望 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・町会別、年齢別の利用交通実態と問題点 ・冬期間の利用交通についての意見・要望 など
設問数	17問	14問

3 調査結果（詳細は別紙1・2のとおり） ※ 比率は1%未満四捨五入

(1) 一般住民対象

ア 松本市西部地域コミュニティバスC線（梓川・波田線）（以下「コミュニティバス」という。）について

利用している人は回答者全体の6%（60歳代以上の8%）で、最終目的地は市の中心市街地が最も多く（利用者の40%）、以下、市立病院・波田駅（22%）、新村駅（21%）等でした。

一方、利用していない人の、利用しない理由は、自家用車がある人が最も多く（回答者の29%）、以下、希望する路線がない（19%）、バス停がない（14%）等でした。

利用していない人が新設を希望する路線（複数回答）については、中心市街地への直

行便が最も多く（回答者の74%）、次いでJR梓橋駅（42%）でした。

現路線は、上高地線波田駅と新村駅を經由しており、中心市街地へは上高地線を乗り継ぐことで移動できることになっていますが、JR梓橋駅を目的地にして欲しいという意見が多いことから、JR線を利用しての中心市街地への移動を希望する人が多いと思われま

イ 新しい公共交通サービス等の利用について（複数回答）

波田地区で運行されている「波田循環バス」のようなシステム、島内地区の「島内川東乗合タクシー」のようなシステム、また全市で実施されている送迎ボランティア等を利用したいかという問いに対して、全体では「送迎ボランティア」が最も多く（回答者の54%）、次いで「波田循環バス」（45%）でした。自宅から目的地までの移動を望む人が多いと思われま

ただ、この傾向は、安曇地区に近い山麓南部のみ異なり、「波田循環バス」が最も多く、次いで「送迎ボランティア」でした。

ウ 公共交通を利用して行きたいと思う場所と目的について（複数回答）

現在、自分で自動車を運転できる人は運転免許証返納等により運転ができなくなった場合を想定して、バスなどの公共交通を利用して行きたい場所等を第3希望まで回答いただきました。

上位2つは、中心市街地（回答者の77%）と梓川倭地区大規模農道沿い店舗等（44%）で、その目的は買い物という人が91%でした。

次いで市立病院・波田駅で35%、その目的は通院という人が86%でした。

(2) 学生対象

ア 通学方法の現状と公共交通の利用希望について

通学のためまず行く場所については、JR梓橋駅が最も多く（回答者の57%）、次いで、直接学校まで（24%）、JR一日市場駅（10%）等でした。

その際の交通手段については、自転車最も多く（62%）、次いで、家族等による送迎（27%）等でした。

また、最寄りの駅までバスがあれば利用したいかという問いに対して、利用したい人が54%、悪天候時に利用したい人が31%、利用したくない人が15%でした。

なお、バスがあれば利用したい人の最も多くが、JR梓橋駅に行きたい人でした。（73%）

イ コミュニティバスについて

利用している人は4人（回答者の3%）で、最終目的地は中心市街地が1人、市立病院・波田駅が2人、その他が1人でした。

一方、利用していない人の、利用しない理由は、希望する路線がない人が最も多く（40%）、以下、運行時間が合わない（19%）等でした。また、新設を希望する路線（複数回答）は、JR梓橋駅が最も多く（回答者の78%）、次いで中心市街地への直行便（73%）でした。

以上のことから、一般住民と同様、JR線を利用しての中心市街地への移動を希望する人が多いと思われま

4 今後の対応について

調査結果を「梓川地区地域づくりセンターだより」等で全戸に周知するとともに、市ホームページ等で公表します。

また、本調査結果を基に、交通部と公共交通施策に関する協議を進めます。